

トビタテ！留学 JAPAN 体験談



コース名 : トビタテ！留学 JAPAN～日本代表プログラム～
大学生等コース（第 11 期）

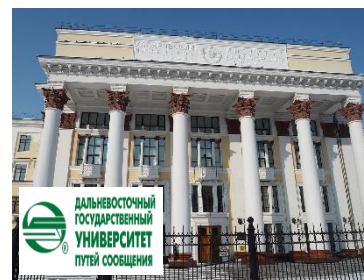
留学者 : 環境都市工学専攻 1 年

留学期間 : 2019 年 9 月 8 日～12 月 3 日（約 3 ヶ月間）

留学先 : ロシア（ハバロフスク市）

受入機関 : 極東国立交通大学（協定校）

留学内容 : 受入先の研究室で研究（研究テーマ：Python を用いた、地中レーダーの自動境界検出の構築）



留学までの流れ

2018 年 12 月 : トビタテ！留学 JAPAN 大学生等コース（第 11 期）募集開始

2019 年 1 月 : 長岡高専の先生を通じて留学先を決定

2 月 : トビタテ！留学 JAPAN 大学生等コース（第 11 期）へ応募

4 月 : トビタテ！留学 JAPAN 合格・採用決定

4 月以降 : 留学先の先生やスタッフと連絡・調整（滞在先の寮の手配など）

VISA 申請、海外旅行保険手続きなど、事前学習（英語など）

8 月 : トビタテ！留学 JAPAN 事前研修へ参加（東京会場）

9 月 : 留学開始

留学先での生活

・公用語はロシア語。

・物価は日本とほぼ同じか、少し高いくらい。

・11 月頃から毎日氷点下（11 月 : 平均気温-7.2℃、最低気温-27.4℃）。

アンバサダー活動

- ・おにぎりパーティーを開催。
- ・日本語教育のボランティア。

※アンバサダー活動：日本の文化を留学先に「伝える活動」



おにぎりパーティー

得られたこと

- ・簡単なロシア語。
- ・行動力（企画力、マネジメント力、人を巻き込むこと力）。
- ・現地でできた友達、トビタテを通じてできた友達。

反省点

- ・渡航前にロシア語の文法などを学んでおくべきだった。
- ・ロシアの、歴史・音楽・美術などの基礎知識も学んでおくべきだった。

感想

今回の海外インターンシップを通して、たくさん得られたものがあったが、特に大切なものは人脈である。私自身、初めての海外であり、渡航前は友達ができるか不安だったが、いざ現地に着くとハバロフスクの人たちはとても優しく、学内外で友達がたくさんできた。また、現地に住んでいる数少ない日本人とも出会うことができた。日本に帰ってきた今でも、連絡を取り合っていて、日本で遊ぶ約束をしているロシア人もいる。加えて、私はトビタテ！留学 JAPAN で今回の海外インターンシップに参加したため、事前研修を通じてたくさんのトビタテ生と交流することができた。異分野で活躍するトビタテ生はとても刺激的で、留学先で困ったことがあれば相談相手にもなってくれる頼りになる存在だった。今回の留学を通して、また色々な国へ留学に行きたいと意欲を掻き立てるきっかけとなった。

